

子育てのワンポイント

何をするにもイヤイヤ。それは「自我の芽生え」＝子どもの独立宣言です！

今まではママとの一体感から、何でも理解されてきましたが、自我が芽生えと、自分自身の意思や感情がはっきりしてきます。「ごはんにしようか？」と誘えば「イヤ！」「寒いから上着を着ようね」と言えば「ダメ！着ない」と逃げていきます。何でも自分で決めたいと願い、大好きな大人にぶつかっていく体験をすることになります。大人の言っていることはわからないではないけれど、「今は大人の言いなりに行動したくない」自分なりの心の世界の誕生を意味します。

大人としては、「扱いにくくなった子」と困った姿として見てしまいがちです。

自己主張をするようになってきたことを大切に認めていきたいものです。

要求が通らなければ、泣き叫ぶこともありますし、大声をあげることもあります。

かといって、なんでも言いなりにするのはNG。

対応法としては、『子どもの主張を受け止めたとうえで、お互いに折り合えるところで約束をする』です。この時期は、他者とぶつかりあい、自分と相手の思っていることが違うことに気づくことが大切。また、自分の要求が常に通るわけではないことを学ぶチャンスです。信頼できる大人とぶつかりあい、人との葛藤を切り抜けることを知っていきます。かといって、自我が芽生えた子どもに、「ちゃんということ聞きなさい」と一方的に叱ると、せっかく芽生えてきた自我の芽を摘み取ってしまいます。

まずは、イヤイヤを受け止め、頭から否定しないで、なぜイヤなのか理解しましょう。子どもの気持ちを代わりに言葉で表現してあげ、親の考えも伝えていきます。子どもは要求が通らなくても、ひとりの人間として尊重されている、気持ちがわかってもらえている、と伝われば、我慢できるようになっていきます。自己主張や長泣きは、わがままではなく、混乱しているだけなので、待ってあげれば気持ちが収まって周りの状況が見られるようになります。折り合いをつけるとは＝会話をする事。

親の考えをちゃんと伝えていくことで、人の気持ちを大切にしよう、という心も育っていきます。

「0歳児から5歳児 行動の意味とその対応」今井和子著 参照



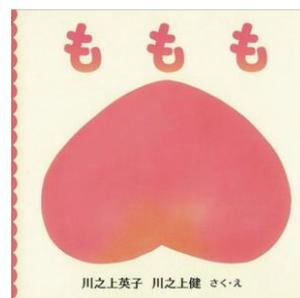
今月の絵本

ももも

川之上英子 川之上健／作・絵 岩崎書店

ちょうちょう ひらひら

まど みちお／文 ・ 西巻茅子／絵 こぐま社



4月の予定

☆ 3日(金) 藪田公園であそぼう(雨天中止)

☆ 17日(金) 親子ヨガ

☆ 24日(金) 園庭開放(予定)

※予約はそれぞれ一ヶ月前から受け付けています。変更になる場合がありますので、詳細は電話などで確認してください。



今月のわらべうた

ずくぼんじょ

ずくぼんじょ

ずっきんかぶって

でてこらさい

今月の歌

<ちょうちょう>

ちょうちょう ちょうちょう

なのはにとまれ

なのはにあきたら

さくらにとまれ

さくらはなの はなからはなへ

とまれよあそべ あそべよとまれ